

環境と民主主義

途上国における開発事業と住民への弾圧

日本の官民が東南アジア諸国で進める大型インフラ開発や大規模資源開発。その現場で、人々の暮らしを支える農地の収用や漁場の汚染、それに対して懸念の声を上げる農民・漁民に対して政府による弾圧が行われていることをご存知でしょうか？

インドネシアのインDRAMユ火力発電所に反対し、弾圧をうけている農民たちの事例、フィリピンの鉱山開発に反対し、殺害された先住民族のリーダーの事例など、開発に反対する住民や活動家弾圧の現状を、FoE Japanの波多江秀枝より報告します。

2018年11月13日（火）18:30～20:30

地球環境パートナーシップ・プラザ

セミナースペース

東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F

（表参道駅B2出口より徒歩5分、渋谷駅より徒歩10分）

プログラム（予定）

- ・世界的に進む環境・人権活動家への弾圧（深草亜悠美）
- ・インドネシア、フィリピンにおける大規模開発と人権（波多江秀枝）

資料代：500円

主催・問い合わせ

国際環境NGO FoE Japan

〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-21-9

TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986

